「hide in steam」

木版（水性凸版）・和紙
90・0チセン×70・0チセン

佐野広章（1972年～）

無数の透明感が、表層の向こうで交わり、濃淡、強弱を発する、その一瞬を留めた画面。あたかも自然界の一角が抽出されて、瞬時見え即消えるはかなさをはらんでいるかのように、見る者の目に残像をのこします。

本作は、彫刻刀のみならずニードルやカッターを駆使して生み出された形状の版木を用いた木版画です。版を圧する力の調整と、水性絵の具と水との関係を見極めながら、版で和紙に絵を描くように、すり重ねて制作されました。作家は、「形を定めない空気をそのままに留め」「生命体を取り巻く空気、もしくはそれを守るシェルターを表現した」といいます。

学生時代には主にリトグラフを制作し、近年の制作では、未知の植物や生物が漂うさまをモチーフとしてきました。本展を機に色と新たに向き合う機会を得たという佐野広章さん。一貫して独自の手法による木版画表現を探究してきたこの作家の新たな展開を予感させます。（小此木）

《名画の扉》

大川美術館企画展「桐生のアーティスト2022 Natural Mind and Natural Color in KIRYU」から